

平成31年度
推薦入試
学生募集要項

国立大学法人

滋賀医科大学

SHIGA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE

目 次

理念等	1
入学者選抜関係日程	6
学生募集要項	
募集人員	7
出願資格等	
医学科	
看護学科	
大学入試センター試験で受験を要する教科・科目	
出願手続	9
出願期間	
出願書類等の提出先及び照会先	
出願書類等	
出願方法	
留意事項	
選抜方法等	10
医学科	
看護学科	
合格者発表	12
入学手続	
個人情報への取扱い	13
出願書類記入上の注意	14
入学志願票	
電算処理原票	
学内の略図	15
大学案内	16
(詳細については大学案内パンフレットを参照してください。)	
入学時の諸経費	
修学費援助	
学生教育研究災害傷害保険	
アパート等	
アルバイト	
課外活動	
福利・厚生	
健康管理	
通学の交通機関	

理 念 等

理 念

滋賀医科大学は、地域の特徴を生かしつつ、特色ある医学・看護学の教育・研究により、信頼される医療人を育成すること、さらに、世界に情報を発信する研究者を養成することにより、人類の健康、医療、福祉の向上と発展に貢献する。

教育理念

豊かな教養と高い専門的知識及び技能を授けるとともに、確固たる倫理観を備え、科学的探究心を有する医療人及び研究者を養成する。

教育目標

- (1) 課題探求、問題解決型学習を通して、適切な判断力と考察する能力を養う。
- (2) 豊かな教養を身につけ、医療人としての高い倫理観を養う。
- (3) コミュニケーション能力を持ち、チーム医療を実践する協調性を培う。
- (4) 参加型臨床（地）実習を通して、基本的な臨床能力を習得する。
- (5) 国際交流に参加しうる幅広い視野と能力を身につける。

医学科 アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

近年、生命科学の分野は著しく進歩し、医学に関する知識量は膨大となり、また新たな学問分野も生まれつつある。一方、医学・医療に対する社会のニーズは多様化し、医学・医療のみならず、生命科学、福祉、国際医療など様々な分野において、有能な人材が求められている。このような状況の中、本学の理念に基づき、医療人に必要な学識・能力・技能を習得する素養を持ち、医学の修得に真摯に、また熱意を持って取り組む、次のような人材を求めている。

○求める学生像

1. 医学の修得に必要な幅広い基礎学力と応用力を有する者
2. 十分なコミュニケーション能力を持ち、協調性や他者への思いやりのある者
3. 大いなる好奇心を持って、自ら考え自ら解決する気概のある者
4. 地域医療に深い関心を持ち、特に滋賀県の医療に貢献する意欲を持つ者
5. 国内外における医学・医療研究の実践及び発展のために、生涯を通じて真摯に取り組む者

○入学者選抜の基本方針

「求める学生像」に沿った人材を選抜するために、一般入試、推薦入試（滋賀県枠を含む）、第2年次後期学士編入学試験（地域枠を含む）を行っている。

滋賀県枠、地域枠では、滋賀県の医療に情熱を持って従事しようとする者を望んでいる。

推薦入試

学校長の推薦書、調査書、志願理由書並びに大学入試センター試験、小論文、面接を総合して選抜を行う。大学入試センター試験では幅広い基礎学力を測り、小論文では理解力、思考力及び表現力を評価し、調査書などの提出書類と面接では地域医療への意欲、協調性、自己表現力、リーダーシップ、倫理観、コミュニケーション能力等を評価する。

医学科 カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1. 一般教養科目、医の倫理、医学英語を6年一貫教育カリキュラムの中に配置して、豊かな教養や国際性、医療人としての確固たる倫理観及び社会性を養う。

また、医学医療に直接関連する授業科目や実習を入学後早期から開講し、学生の医学修得の動機付けを積極的に行う。

2. 基礎医学科目では、講義に加えて少人数で行う実習と演習も重視して、基本的概念の理解を助ける。臨床医学では、臓器・器官別に講義を行い、疾患の系統的理解を助ける。
3. 横断的臨床領域の具体的な症例をグループ討論や個人学習で学ぶ少人数能動学習を行い、問題発見・解決能力、自己開発能力、臨床推論能力を養う。さらにはコミュニケーション能力や協調性の育成も図る。
4. 学内臨床実習では、学生はスチューデントドクター（Student Doctor）として、指導医（教員）

の教育・指導のもとに診療チームの一員として診療に参加し、基本的臨床技能や臨床推論能力を身につける。さらに、学外臨床実習では、地域の医療機関で実習を行い、地域医療や福祉・介護の実験を体験して、その理解を図る。

5. 自ら研究テーマを設定し国内外で研究活動を行う研究室配属（自主研修）により、医学研究を体験し、研究に対する意欲や理解力を養う。
6. 医学概論、医学特論、公衆衛生学・社会医学フィールド実習などの講義・実習を通して、国内外の保健や医療行政など人々の健康増進に必要な社会医学の役割と課題について理解を深める。

医学科 ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

1. 豊かな人間性と確固たる倫理観を身につけ、医のプロフェッショナルリズムを実践することができる。
2. 発展し続ける基礎医学、行動科学、社会医学、臨床医学を十分に理解して、それらを診療や研究の場で活用することができる。
3. 基本的臨床技能や臨床推論能力を持ち、かつ実践することができる。
4. 十分なコミュニケーション能力や協調性を持ち、患者や医療スタッフと良好な関係を築き、多職種間連携も円滑に行うことができる。
5. 自己主導型学習能力や生涯学習態度を身につけ、それらを実践することができる。
6. 福祉・介護を含む地域医療に対して十分な理解を有し、地域社会の要請に応えることができる。
7. 研究マインドを持ち、基本的研究手技を習得し、医学研究を通して国際的に貢献する素養を身につけている。
8. 国内及び国際社会における保健と医療行政を理解し実践することができる。

看護学科 アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本学の理念に基づき、高い教養と高い倫理観を備えた看護職の育成を目指しており、卒業生が看護師、保健師、助産師として地域に貢献し、また看護職者としてのスペシャリストや管理職、教育者・研究者として活躍できることを目標としている。そのため、看護職に必要な学識・能力・技能を習得する素養を持ち、看護学の修得に真摯に、また熱意を持って取り組む、次のような人材を求めている。

○求める学生像

1. 看護学の修得に必要な基礎学力を持っている者
2. 十分なコミュニケーション能力を持ち、協調性や他者への思いやりのある者
3. 能動的学習や生涯学習ができる者
4. 地域の保健・医療・福祉に理解を示す者

○入学者選抜の基本方針

「求める学生像」に沿った人材を選抜するために、一般入試、推薦入試、第3年次編入学試験を行っている。

推薦入試

学校長の推薦書、調査書、志願理由書並びに大学入試センター試験、面接を総合して選抜を行う。大学入試センター試験による学力評価に加え、志願理由書などの提出書類や面接で学習の到達度や高等学校在学中の様々な活動実績、志望の意欲や明確さ等を評価する。

看護学科 カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

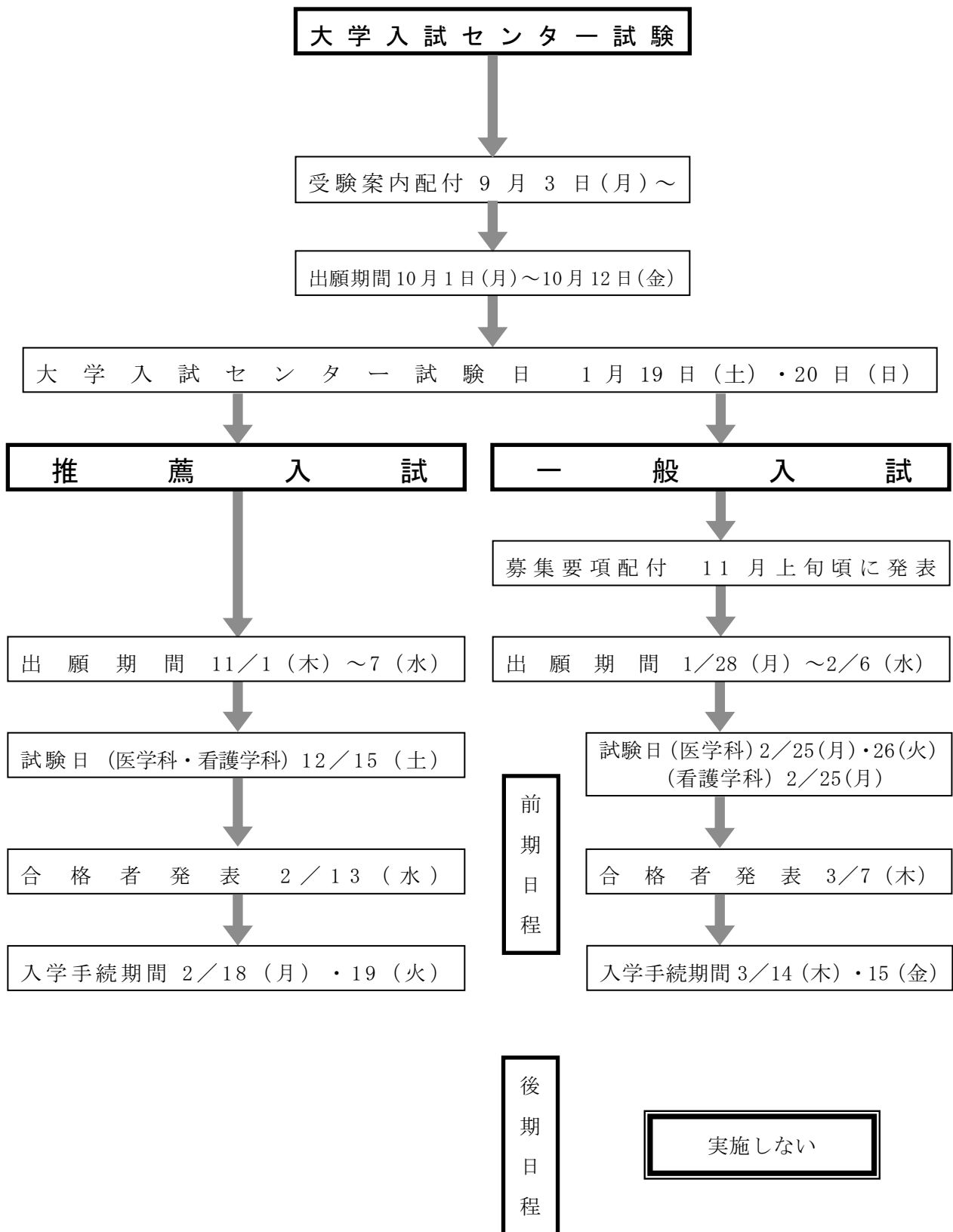
1. 教養科目と基礎科目の統合を図り、自然環境から社会の仕組みまでを健康との関係で捉え、個としての人間や人間の生命活動の理解を助ける。
2. 専門科目では理論と実践を統合するとともに、附属病院との連携・協力により医療者として必要な知識や倫理観、実践的看護技術を養う。
3. 国内外の保健・医療・福祉環境の変化に関心を持ち、世界的視野にもとづく健康課題を学び、国際的な支援活動のあり方やその方法について理解する。
4. 包括的な保健・医療・福祉の実践並びに多職種との連携・協働に不可欠なコミュニケーション能力を強化する授業科目の開講や医学科との合同授業を行う。
5. 看護研究方法論等を配置し、臨床的知見を踏まえた看護学研究や論文作成の方法を教授するとともに、学会や研究会への参加を促す。
6. 公衆衛生看護活動における地域診断の基本的知識及び住民の健康課題の解決に必要な基本的技術を身につける。
7. 母子保健や女性の健康に関する課題について、助産師に求められる役割と責任を理解し必要な助

産診断と助産技術を身につける。

看護学科 ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

1. 豊かな人間性並びに幅広い教養と倫理観にもとづいた専門知識を身につけ、病者や障がい者への看護だけでなく広く人々の健康生活を支援することができる。さらに、国際的見地により健康問題を考えることができる。
2. 十分なコミュニケーション能力や協調性を持ち、患者や医療スタッフと良好な関係を築き、多職種と連携・協働することができる。
3. 自ら積極的に課題を発見し解決する能力や研究する態度など、専門職あるいは将来の研究者としての基本的な研究手法等の素養を身につけている。
4. 人々の健康で文化的な生活を営む権利を保障するために、保健師の社会的意義や活動の可能性を理解し、主体的な公衆衛生看護活動を行うために必要な能力を有する。
5. 助産診断に基づく助産ケアの実践と分娩介助などの周産期医療において助産師に求められる能力を有する。さらに、ウイメンズヘルスを生涯発達として理解し、健康支援の方法が理解できる。

入学者選抜関係日程



学生募集要項

募集人員

学 科	募 集 人 員
医 学 科	25名
看 護 学 科	10名

(備考)

【滋賀県枠13名以内】

医学科の募集人員25名のうち10名以内は滋賀県内の高等学校卒業見込みの者とし、また、3名以内は、滋賀県外の高等学校又は中等教育学校を卒業見込みの者で、本人又は1親等の親族のいずれかが、滋賀県内に住所を有する者としてします。

出願資格等

医 学 科

出願資格	高等学校若しくは中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者で、平成31年度大学入試センター試験において、本学が指定した教科・科目(次頁参照)を受験し、かつ、次の出願要件を満たす者
出願要件	<ol style="list-style-type: none"> 1. 出身学校における学習成績、人物について、本学が求める人材(将来の医師又は研究者にふさわしい優れた能力・人格を有し、更に本学志願の動機が明確であり、積極性に富んでいる者)であると学校長が責任を持って推薦できる者 2. スポーツ・文化活動やボランティア活動等を通して、充実した学校生活を送った者 3. 出身学校において物理、化学及び生物から2科目以上履修(見込みを含む)した者(理数科にあっては、理数物理、理数化学及び理数生物のうち2科目以上) 4. 出身学校における調査書の学習成績概評がA段階の者 5. 合格した場合は、入学を確約できる者
推薦人員	1高等学校若しくは1中等教育学校の学校長が推薦し得る人員に、制限は設けていません。

看 護 学 科

出願資格	高等学校若しくは中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者で、平成31年度大学入試センター試験において、本学が指定した教科・科目(次頁参照)を受験し、かつ、次の出願要件を満たす者
出願要件	<ol style="list-style-type: none"> 1. 出身学校における学習成績、人物について、本学が求める人材(将来の看護師、保健師、助産師又は研究者にふさわしい優れた能力・人格を有し、更に本学志願の動機が明確であり、積極性に富んでいる者)であると学校長が責任を持って推薦できる者 2. スポーツ・文化活動やボランティア活動等を通して、充実した学校生活を送った者 3. 出身学校における調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者 4. 合格した場合は、入学を確約できる者
推薦人員	学校長が推薦し得る人員は、1高等学校若しくは1中等教育学校につき2名とします。ただし、衛生看護科・総合学科を設置する高等学校若しくは中等教育学校にあっては別枠で1名を推薦することができます。

大学入試センター試験で受験を要する教科・科目

学 科	教 科	科 目	科目数
医 学 科	国 語	『国語』	1
	地理歴史 公 民	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」, 『倫理, 政治・経済』から 1科目選択	1
	数 学	『数学Ⅰ・数学A』, 『数学Ⅱ・数学B』	2
	理 科	「物理」, 「化学」, 「生物」から2科目選択	2
	外 国 語	『英語』必須	1
	看護学科	国 語	『国語』
地理歴史 公 民		「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」, 「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 『倫理, 政治・経済』 から1科目選択	1
数 学		「数学Ⅰ」, 『数学Ⅰ・数学A』, 「数学Ⅱ」, 『数学Ⅱ・数学B』から 1科目選択	1
理 科		「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」から2科目、又は、「物理」, 「化学」, 「生物」から1科目選択	2又 は1
外 国 語		『英語』必須	1

- (注) 1. 「地理歴史・公民」について、複数の科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
 なお、この取扱いにおいて、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は、**受験資格を満たさない**ことになりますので、第1解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。
2. 看護学科の「数学」について、複数の科目を受験している場合は、高得点の科目の成績を用います。
3. 看護学科の「理科」について、
- ① 『基礎を付した』3科目（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」）から2科目及び『基礎を付していない』3科目（「物理」、「化学」、「生物」）から1科目を選択した場合は、『基礎を付した』2科目と『基礎を付していない』1科目のいずれか高得点の成績を用います。
 - ② 『基礎を付していない』3科目（「物理」、「化学」、「生物」）から2科目を選択した場合は、第1解答科目の成績を用います。
4. 「外国語」は英語を必須とし、リスニングの成績を利用します。

出 願 手 続

1. 出願期間

学 科	出 願 期 間
医 学 科	平成30年11月1日（木）～ 7日（水） 午後5時まで（必着）
看 護 学 科	

2. 出願書類等の提出先及び照会先

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学 学生課入試室入学試験係 電話 077-548-2071（直通）

3. 出願書類等（※印は本学所定の用紙等）

書 類 等	備 考
入学志願票（推薦入試用）※	14ページの「出願書類記入上の注意」を参照のうえ記入してください。
電算処理原票※	〃
平成31センター試験成績請求票（ <u>推薦</u> 国公立推薦入試用）	平成30年12月15日（土）の試験当日に回収します。（前期日程用等と異なりますので、注意してください。）
受験票・写真票※	写真（3か月以内に撮影した正面上半身、無帽、縦4cm×横3cmのもの）を写真欄に貼付してください。
推薦書※	出身学校長が作成し、厳封したもの。
志願理由書※	志願者本人が記入したもの。
調査書	文部科学省が定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
検定料納付確認書（巻末に綴込み）※	入学検定料 17,000 円を、検定料振込用紙（本学所定の用紙・巻末に綴込み）を使用し、平成30年10月18日（木）から11月7日（水）の期間に銀行で振込んだ後、収納印を受けた「振込金受領証明書」を貼付してください。
受験票送付用封筒※	宛先を記入し、362円分の切手を貼付してください。
あて名票（A）（B）※	あて名票（A）に出身学校長の宛先を、（B）には選考結果を受ける宛先を記入してください。台紙は、はがさないでください。

- （備考）
1. いったん受理した出願書類は、理由のいかんにかかわらず返還できません。
 2. 出願書類等に記載事項の記入漏れ、その他不備のある場合は、受理しないことがあります。
 3. 出願書類等受付後は、記載事項の変更は認めません。
 4. 出願書類に虚偽の申告をした者については、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

4. 出願方法

出願書類等は、出身学校長を通じて郵送してください。郵送にあたっては出願書類等を一括のうえ、**本要項添付の所定の封筒**により『書留・速達郵便』で送付してください。

なお、同一学校から複数の志願者がある場合には、志願者別にそれぞれ所定の封筒に封入し、一括して別の封筒に入れ『書留・速達郵便』で送付してください。

5. 留意事項

- (1) 国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含む）へ出願することができるのは、1つの大学・学部に限られるので、留意してください。
- (2) 国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センターの受験番号に限って、推薦入試の可否及び入学手続等に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。
- (3) 受験票は、12月7日（金）頃までに、志願者宛に本学から発送します。12月10日（月）までに受験票が到着しない場合は、9ページの「出願手続2の照会先」に至急電話連絡してください。
- (4) 障害を有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある場合は、出願に先立ち9ページの「出願手続2の照会先」まで申し出てください。
- (5) 入学検定料返還該当者への返還手続きについて

入学検定料返還の該当者は以下のとおりです。以下に該当しない者は理由の如何を問わず返還は行いません。該当する者は、9ページの「出願手続2の照会先」へ平成30年12月7日（金）までに申し出てください。

- ① 検定料を払い込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）者
- ② 検定料を誤って二重に払い込んだ者

選 抜 方 法 等

医 学 科

1. 選抜方法

学校長の推薦書、調査書、志願理由書並びに大学入試センター試験の成績、小論文、面接を総合して合格者を決定します。

2. 選抜の日程

月 日	時 間	科 目 等	備 考
12月15日 (土)	10:00～12:00	小論文	資料に基づいて論述させ、理解力、思考力及び表現力を評価する。
	13:30～	面接 (グループ)	将来、医師又は研究者となるにふさわしい資質・適性の観点から評価する。 詳細については、受験票送付の際、通知する。

3. 場 所

滋賀医科大学（15ページの「学内の略図」を参照）

4. 受験に関する注意

- (1) 滋賀医科大学受験票及び平成31センター試験成績請求票（**推薦** 国公立推薦入試用）を忘れず持参してください。

なお、平成31センター試験成績請求票について、試験当日に持参できない場合は、試験当日に申し出てください。

また、本学受験票は、入学手続きの際に必要となりますので大切に保管してください。

- (2) 試験当日は、午前9時30分までに指定の試験室（受験票送付時に通知します。）に入室してください。
- (3) 小論文の試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
なお、面接の集合時刻（試験当日に通知）に遅刻した場合は、受験資格を失いますので特に注意してください。
- (4) 小論文に使用できるものは、黒鉛筆（シャープペンシル可）、鉛筆削り（電動式を除く）、消しゴム、メガネ、時計（計時機能のみ）に限りです。
- (5) 昼食（湯茶を含む）を用意してください。
- (6) 志願者に対する宿泊施設の斡旋は行いません。

看護学科

1. 選抜方法

学校長の推薦書、調査書、志願理由書並びに大学入試センター試験の成績、面接を総合して合格者を決定します。

2. 選抜の日程

月 日	時 間	科 目 等	備 考
12月15日 (土)	9:30 ~	面 接 (グループ)	将来、看護師、保健師、助産師又は研究者となるにふさわしい資質・適性の観点から評価する。 詳細については、受験票送付の際、通知する。

3. 場 所

滋賀医科大学（15ページの「学内の略図」を参照）

4. 受験に関する注意

- (1) 滋賀医科大学受験票及び平成31センター試験成績請求票（**推薦** 国公立推薦入試用）を忘れず持参してください。

なお、平成31センター試験成績請求票について、試験当日に持参できない場合は、試験当日に申し出てください。

また、本学受験票は、入学手続きの際に必要となりますので大切に保管してください。

- (2) 面接についての詳細（集合時刻等）は、受験票送付時に通知する文書により確認してください。
なお、所定の集合時刻に遅刻した場合は、受験資格を失いますので特に注意してください。
- (3) 志願者に対する宿泊施設の斡旋は行いません。

合格者発表

平成31年2月13日（水） 午前10時（予定）

入学試験掲示場（15ページの「学内の略図」を参照）及び本学インターネットホームページ（<https://www.shiga-med.ac.jp/>）において合格者の受験番号を発表します。

また、受験者あてに郵送により選考結果を通知するとともに、合格者には合格通知書と共に入学手続き書類を送付します。なお、学校長にも文書により通知します。

選考結果等が2月14日（木）に到着しない場合は、2月15日（金）に入学試験係（9ページの「出願手続2の照会先」）に電話連絡してください。

入学手続

1. 日時

・持参の場合

平成31年2月18日（月） 午前9時から午後5時まで

ただし、やむを得ない事情により上記指定日に手続できない場合は、下記2へ上記時間内に連絡のうえ、平成31年2月19日（火）の午前9時から午後5時までの間に手続を行ってください。

・郵送の場合

平成31年2月19日（火） 午後5時必着

郵送の場合は、平成31年2月18日（月）午後5時までに下記2へ連絡してください。

2. 手続場所（郵送先）

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学 学生課入試室入学試験係 電話 077-548-2071（直通）

3. 納付金

(1) 入学料 282,000円

(2) 授業料 未定（参考：平成30年度 267,900円（前期分）〔年額 535,800円〕）

① 未定としている授業料の額及び納付の詳細については、合格者に別途通知します。

② 前期分の授業料は、本学所定の振込依頼書により平成31年4月中に納付していただくことになります。

③ 授業料については、年額を納付することができます。

④ 授業料が在学中に改定された場合は、改定時から新しい授業料を適用します。

4. 納付金の免除等

入学料及び授業料には免除及び徴収猶予の制度があり、これに関する手続等については、合格者に別途通知します。

5. 提出書類等

入学手続に必要な書類やその他詳細については、合格通知書を送付する際にお知らせします。

6. 留意事項

- (1) 入学手続きには、本学受験票と大学入試センター試験受験票が必要となりますので、紛失しないよう注意してください。
- (2) 推薦入試合格者で、本学の指定する期限までに入学手続きを完了しなかった者は、推薦入試の合格者としての権利を失うとともに、他の国公立大学を受験しても合格者とはなりません。
ただし、やむを得ない事情により、推薦を行った高等学校長から平成31年2月19日（火）午後5時までに「推薦入学辞退願」（様式任意）を本学に提出し、許可を得た場合はこの限りではありません。

7. 一般入試への出願

- (1) 推薦入試の志願者は、不合格となった場合に備え、本学を含む、いずれの国公立大学・学部一般入試にも出願することができます。出願する場合は、「前期日程」の大学・学部から1つ、「後期日程」の大学・学部から1つの合計2つの大学・学部に出願することができます。
ただし、大学入試センター試験の受験を要する教科・科目については、当該大学・学部の指示に従ってください。
- (2) 推薦入試の志願者が本学の一般入試に出願する場合は、推薦入試出願書類等とは別に、一般入試の「出願書類等（一般入試の募集要項を参照）」を整え、出願期間中（平成31年1月28日～2月6日）に提出してください。

8. その他

入学の確約に違約した場合は、翌年度以降の出身学校からの推薦を受理しないことがあります。

個人情報の取扱い

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、次のとおり取り扱いますので、予めご了承ください。

1. 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人滋賀医科大学の保有する個人情報の適切な管理のための措置に関する規程」に基づいて取り扱います。
2. 出願書類等に記載された氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
3. 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料作成のために利用します。
4. 合格判定資料作成業務（氏名・住所を除く）での利用に当たっては、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、匿名化された個人情報の全部又は一部を提供します。
5. 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、大学入試センターの受験番号、可否及び入学手続きに関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。
6. 出願書類等に記載された個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

出願書類記入上の注意

黒・青のボールペン又はインクを使用し、自筆で丁寧に記入してください。

※印の欄は、記入しないでください。

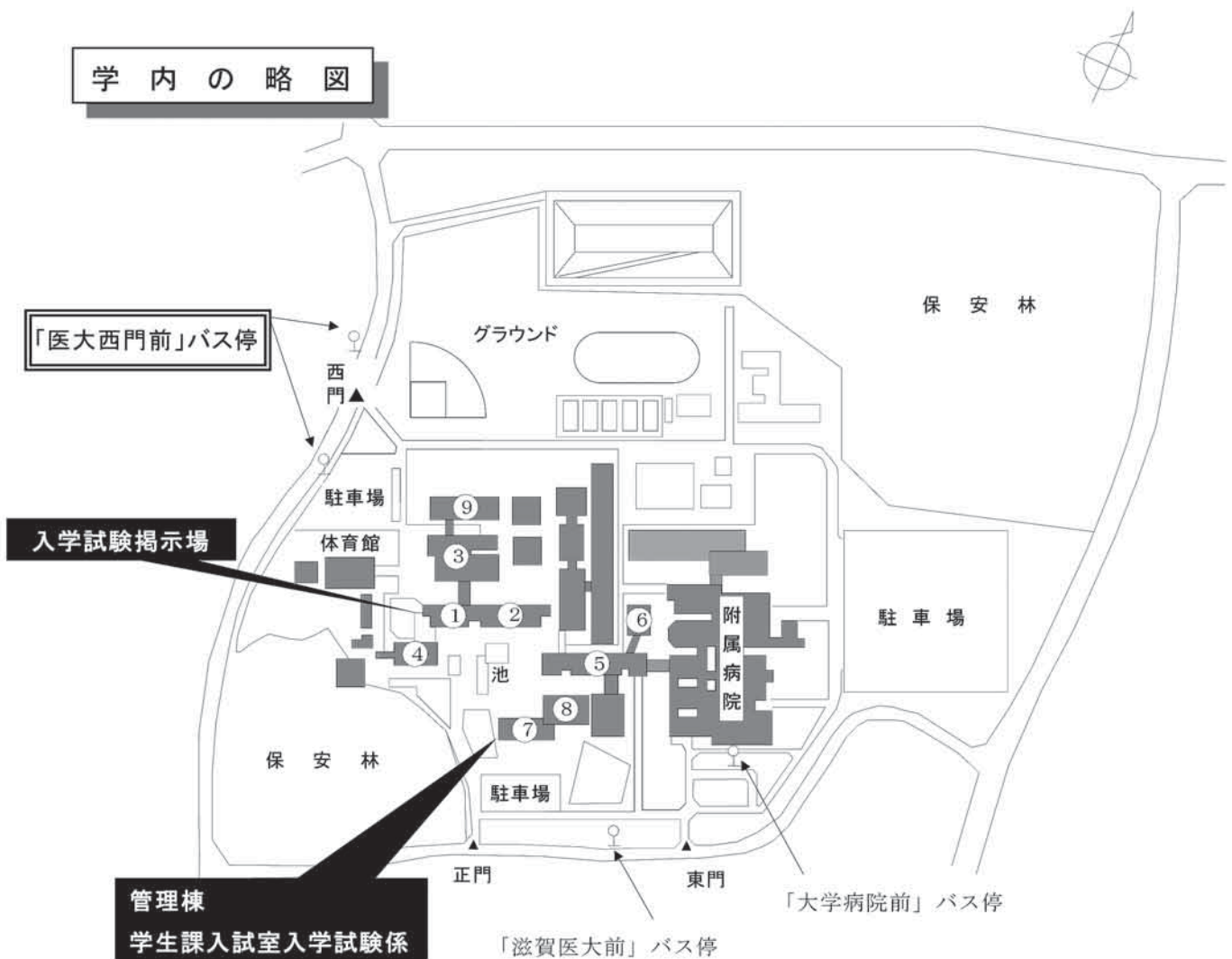
入学志願票

1. ①から⑦までのすべての項目に記入してください。
2. ③「生年月日」欄の年・月又は日が1けたの場合は、前に0を付し2けたとして記入してください。
3. ④「性別」欄へは1又は2の性別コードを記入してください。
4. ⑤「大学入試センター試験登録教科等確認」欄へは、大学入試センターから平成30年10月下旬までに届く確認はがき等により本学が受験を要するとして指定した教科・科目を出願において間違いなく登録したことを確かめたうえで、確認欄に○印を記入してください。

電算処理原票

1. ①から③の項目は、記入しないでください。
2. ④「平成31センター試験成績請求票貼付欄」に貼付する「成績請求票」については、試験当日（12月15日）に回収しますので、必ず持参してください。（推薦入試用、AO入試用、前期日程用及び後期日程用の成績請求票は、それぞれ異なりますので注意してください。）
なお、成績請求票の再発行を受けた場合は、再発行分のみが有効です。
3. ⑤性別
入学志願票の④に記入した1又は2の性別コードを記入してください。
4. ⑧高等学校等コード
入学志願票の⑥に記入した高等学校等コードを記入してください。

学内の略図



- ① 一般教養棟
- ② 基礎研究棟
- ③ 基礎講義実習棟
- ④ 福利棟
- ⑤ 臨床研究棟
- ⑥ 臨床講義棟
- ⑦ 管理棟・保健管理センター
- ⑧ 図書館・マルチメディアセンター
- ⑨ 看護学科棟



大 学 案 内

本学は、昭和49年10月に医学部医学科を設けて開学し、昭和53年10月には附属病院を開院しました。昭和56年3月に第1回卒業生を送り出し、昭和56年には大学院博士課程を設置しました。また、平成6年には医学部に看護学科を、平成10年には大学院に修士課程看護学専攻を設置しました。

医学科においては、6年の教育課程を修了し、卒業を認定された者に対して、学士（医学）の学位を授与します。また、卒業すると、医師国家試験受験資格が得られます。

なお、医学科にはPhD-MD制度があります。PhD-MD制度とは、医学科4年修了後ただちに大学院に進学して、博士号の学位（PhD）を取得した後、本人の意思により医学科5年に復学して臨床医を目指す道、あるいは基礎系研究者となる道のいずれかを選択できる制度のことをいいます。

看護学科においては、4年の教育課程を修了し、卒業を認定された者に対して、学士（看護学）の学位を授与します。また、卒業すると、看護師の国家試験受験資格が得られます。なお、保健師または助産師の課程（いずれも選択制・定員制・学内選抜）を修了した者は、看護師のほか保健師または助産師の国家試験受験資格も得られます。

入学時の諸経費

1. 入学料 282,000 円
2. 授業料 未定（参考：平成30年度 267,900 円（前期分） [年額 535,800 円] ）
（備考）（1） 授業料については、年額を納付することができます。
（2） 授業料が在学中に改定された場合は、改定時から新しい授業料を適用します。
3. 学生教育研究災害傷害保険（参考：平成30年度）
医学科 4,800 円（6か年分）
看護学科 3,370 円（4か年分）
4. その他の保険（参考：平成30年度）
医学科 学研災付帯賠償責任保険 （1,360 円 1年～4年の4か年分）
看護学科 学研災付帯学生生活総合保険（35,400 円 4か年分）

修学費援助

1. 入学料の免除・徴収猶予制度

入学前1年以内に学資負担者が死亡したり、風水害の被害を被った場合など、特別な事情により、入学料の納付が著しく困難である者を対象に選考のうえ、入学料の全額又は半額を免除する制度、並びに前記理由又は経済的な理由により納付期限までに入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者を対象に選考のうえ、入学料の徴収を猶予する制度があります。

2. 授業料の免除・徴収猶予制度

経済的な理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者又は入学前1年以内に学資負担者が死亡したり、風水害の被害を被った場合など、特別な事情により、授業料の納付が著しく困難である者を対象に選考のうえ、授業料の全額又は半額を免除する制度、並びに徴収を猶予する制度があります。

3. 奨学金制度

(1) 日本学生支援機構

人物、学業成績ともに優れ、かつ経済的理由により修学困難な者は、日本学生支援機構の選考を経て、奨学金の貸与を受けることができます。なお、日本学生支援機構奨学金の種類と貸与月額は、下表のとおりです。

(平成30年度)

種 類	区 分	貸与月額
第一種奨学金 (無利息)	自宅通学者	20,000円・30,000円・45,000円
	自宅外通学者	20,000円・30,000円・40,000円・51,000円
第二種奨学金 (利息あり) ※1		2万円～12万円の間の1万円単位で希望貸与月額を選択
入学時特別増額貸与奨学金 ※2		10万円・20万円・30万円・40万円・50万円の中から選択 初回の奨学金振込み時に増額して貸与

※1 在学中は無利息、卒業後は3%を上限とする利息付き

※2 入学時特別増額貸与奨学金だけの貸与はできません。(日本政策金融公庫の国の教育ローンを利用できなかった者等に限る。)

(2) その他

地方公共団体及び民間の奨学団体による育英奨学金制度があります。

学生教育研究災害傷害保険

この制度は、学生が被る種々の教育研究活動中の災害に対して、これを救済する補償制度です。

本学では、入学手続き時に全員が加入することを原則としています。

教育研究活動中とは、正課中、学校行事に参加中、学校施設内での休憩中、課外活動中又は学校施設外で大学に届け出た課外活動中及び通学中等をい、これらの活動中に被った急激、かつ偶然な外来の事故による身体の傷害が保険金支払いの対象となります。

保険金の内容

(平成30年度)

事 故 区 分	保険金の種類	支払保険金額	入院加算金
正課中及び学校行事に参加中	死 亡	2,000万円	入院1日につき4,000円 (左記の金額に加算されます。)
	後遺障害	3,000万円まで (その程度に応じて)	
	医 療	30万円まで (治療日数1日以上)	
上記以外で学校施設内にいる間、通学中、学校施設等相互間の移動中	死 亡	1,000万円	
	後遺障害	1,500万円まで (その程度に応じて)	
	医 療	30万円まで (治療日数4日以上)	
学校施設外での課外活動中	死 亡	1,000万円	
	後遺障害	1,500万円まで (その程度に応じて)	
	医 療	30万円まで (治療日数14日以上)	

ア パ ー ト 等

学生寮がありませんので、本学周辺のワンルームマンション等住居の情報提供を行っています。
部屋代は、地域によって異なりますが、ワンルームマンション（6畳・バス・トイレ付き）で4～6万円位です。

ア ル バ イ ト

希望する人には、家庭教師を中心とした修学に支障のない程度のアルバイトを紹介しています。

課 外 活 動

課外活動施設として、体育館、武道場、グラウンド、テニスコート、水泳プール、ヨット艇庫、ボート艇庫、音楽棟、クリエイティブ・モチベーションセンター等があり、次の課外活動団体が活動しています。

文化系 写真部、軽音楽部、コンピュータークラブ、SUMS ESS、美術部、管弦楽団、囲碁・将棋部、
混声合唱団、茶道部、遊書会、アカペラサークル、国際保健・地域医療研究会 TukTuk、
学習支援ボランティアサークル アトラス、園芸部、医学研究サークル Affiniche、
救急医療研究サークル SALSA、若鮎祭実行委員会、ダンスサークル AMU'S、
しがぬいぐるみ病院、学生医療勉強会 Team Biwa、大道芸サークル -PATCH-
リレー・フォー・ライフ・ジャパン滋賀医科大学実行委員会

体育系 バドミントン部、硬式庭球部、剣道部、サッカー部、バスケットボール部、ラグビー部、
スキー部、バレーボール部、準硬式野球部、ヨット部、水泳部、端艇部、ハンドボール部、
ワンダーフォーゲル部、陸上競技部、ソフトボール部、柔道部、ゴルフ部、合気道部、
スノーボード部、空手道部、卓球部、フットサルサークル

福 利 ・ 厚 生

学内には、生協（食堂・売店・書籍）、コンビニエンスストア、コーヒーショップ、理髪室、簡易郵便局、
キャッシュコーナー等があり、日常生活の便宜が図られています。

健 康 管 理

学生の健康管理のために、保健管理センターを設置し、健康で明るい学生生活が送れるよう、常時、医
師及び看護師が、けがや病気の際の応急処置のほか、健康診断をはじめとする集団検診、健康相談、カウ
ンセリング及び保健指導を行っています。

また、本学は敷地内全面禁煙の宣言を行い、国民の健康を守ることを使命とする医療人育成に全力を挙
げて取り組んでいます。

通 学 の 交 通 機 関

JR 東海道本線（琵琶湖線）瀬田駅（新快速は停まりませんので普通電車をご利用ください。）から、路線バ
スで約15分です。

なお、自動車通学は、原則として認めていません。

検定料振込用紙等

- ※1 下切り取り以下の用紙により、平成30年10月18日(木)から11月7日(水)の期間に振り込んでください。
- 2 右の台紙に「振込金受領証明書」を貼り付けたものを関係書類と共に送付してください。

検定料納付確認書

この枠内に振り込み後の「振込金受領証明書」を貼り付けてください。

C

振込金受領証明書 (大学提出用)

金額	¥17,000-
受取人	滋賀医科大学 (フリガナ氏名)

取扱銀行収納印

1

A

振込金(兼手数料)受領書 (本人保存)

依頼日	年 月 日
金額	¥17,000-
先 行	滋賀銀行・瀬田駅前支店 関西アーバン銀行・草津南支店 三菱UFJ銀行・草津支店
受取人	滋賀医科大学
志願者氏名(フリガナ)	
消費税込 手数料	

上記の金額正に受取りました。

取扱銀行収納印

銀行
支店

2

B

(右記印取りまとめ銀行のうち一つを選び、
〇印を付し必ず電信送金してください。)

電信扱

振込依頼書 (取扱店保存)

依頼日	年 月 日	振込指定 口座番号
先 行	預金種目	
滋賀銀行・瀬田駅前支店	普通	0146970
関西アーバン銀行・草津南支店	普通	0514443
三菱UFJ銀行・草津支店	普通	1102147
受取人	シカ・イカタ・イカ・ク	
志願者氏名(フリガナ):	もれのないよう打電してください。	
氏 名(漢字)	滋賀医科大学	
住 所 千		
TEL		

電信扱	金額	¥17,000-
現金		
内 当手 枚		
他手 枚		
内 記 別		
10,000	0:000	100
5,000	000	50
2,000	000	10
1,000	000	合 計
500	00	つり銭

手数料ご依頼人負担

科目

取扱銀行収納印

3

◎取扱銀行へのお願い

- ①本線内を必ず打電してください。
- ②金額の訂正はできません。
- ③収納印は1・2・3にもれなく正確に押印し、A・C票は必ず依頼人にお返しください。
- ④滋賀銀行以外の銀行・信用金庫から振り込まれる場合は手数料が必要です。
- ⑤本振込依頼書は、平成30年11月8日以降は取り扱わないでください。



入学者選抜等に関する照会先

滋賀医科大学 学生課入試室入学試験係
〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

TEL 077-548-2071

E-mail hqnyushi@belle.shiga-med.ac.jp

<https://www.shiga-med.ac.jp/>



<https://daigakujc.jp/shiga-med/>